



ウェルビー

第 34 号
2018 年 春

■ 第 15 回 医療法人南労会 学術研究発表会

■ 新入職員紹介

■ 新任医師紹介

■ 退職医師紹介

■ 超高性能のマンモグラフィ検査「トモシンセシス」導入

■ 機能訓練室開設(通所介護デイサービス春林館)

WELL BEING NEWS

■ サークル KIWA 開催報告

■ お花見開催報告

～連載～

■ 地域連携室便り 地域の架け橋



第 15 回 医療法人南労会 学術研究発表会



恒例の学術研究発表会が3月17日(土)かつらぎ総合文化会館あじさいホールで開催されました。

日々の業務と並行して、この発表のために数か月前から準備をしてきました。

データを集めたり、統計をとったり、患者さんにアンケートを行ったり・・・真剣に研究に取り組んだ成果を発表しました。発表のテーマもこれからの病院に役に立つものが多く、また発表の仕方や、話し方も洗練され、大いに進歩した研究発表会でした。



平成 30 年度

新入職員紹介

今年も新しい仲間が

加わりました！

今春、新たに 24 名が、医療法人南労会の職員として加わりました。

4 月 2 日（月）から新入職研修を受講し、職員としての心構えや基礎知識を学び、患者さん・利用者さんから信頼される職員になれるよう真剣に取り組みました。



新任医師紹介

4 月 2 日付……………

形成外科

上村 和久

（うえむら かずひさ）

4 月 3 日付……………

皮膚科

岩倉 理世

（いわくら りよ）

4 月 4 日付……………

内科（糖尿病・代謝内科）

小河 健一

（おがわ けんいち）

退職医師紹介

1 月 17 日付……………

内科（総合内科） 谷北 明彦

3 月 31 日付……………

皮膚科 三宅 雅子

紀北地方
初導入!!

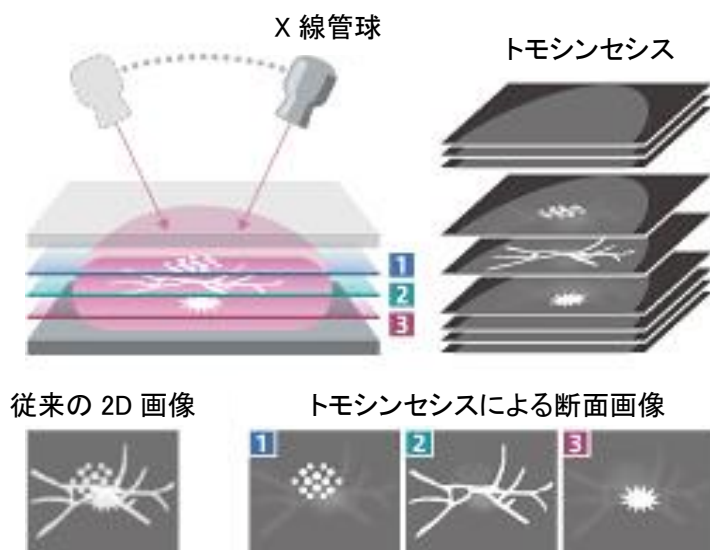
～隠れている乳がん
新技術で検出率アップへ!～



超高性能のマンモグラフィ検査 トモシンセシス

●最先端の乳がん検診「トモシンセシス」とは？

乳房トモシンセシスは、圧迫された乳房を短時間でスキャンし複数の角度で画像収集する 3 次元撮影技術です。



メリットは？

1. 精度の高い検査で見落としが少ない！

従来の装置では発見しにくかった病変を明瞭に映し出します。

2. 受診者の負担を軽減！！

検査時の圧力を最小限に抑え受診者への負担が軽減されています。

画像：富士フィルムより転載

従来のマンモグラフィ(2次元撮影)

日本人に多い高濃度乳腺の人などは、乳腺全体が白く写り、病変と周囲の正常組織が重なってしまうことが欠点。
乳がんが乳腺に隠れて見つけにくい。



最新技術トモシンセシス(3次元撮影)

角度を変えてパラパラ漫画のように乳房を薄い断面の画像として撮影し、さらに収集したデータを 3 次的に再構築して断層像を作成できる新機能。乳腺の重なりが少なくなり正常乳腺と病変との区別が容易にできる。



今や生涯に乳がんを患う日本人女性は 11 人に 1 人とされています。女性の乳がん死亡率も年々増加傾向にあり、女性の 30～64 歳までの死亡原因のトップとなっています。

日本の乳がん検診受診率は OECD（経済協力開発機構）加盟国 30 カ国中で最低レベルに位置しています。欧米などでは検診受診率の向上により早期発見が増え、診断治療の進展とも伴って死亡率が年々低下してきています。日本では、著名人の乳がん罹患及びその後の闘病がマスコミによって広く取上げられ、その怖さは十分に伝わっているはずですが、それなのに…なぜ…？

乳がんは早期に見つければ治る病気です。私は大丈夫などと他人事のように思わず、後悔しないうちに乳がん検診を受けましょう。

紀和ブレスト（乳腺）センターでは最新・最先端の装置を導入したことで、乳がんの早期発見を強力にサポートすることが出来ます。また、マンモグラフィに際してはすべて女性技師が対応し、心にも優しい検診を目指しています。

また、20 代で乳がんを患う人もいますので、「若いから大丈夫」と思わず、関心を持ちましょう。もしやと思ったときには勇気を持って診察を受けましょう。



放射線科技師長 國眼 勇



元気アップ

しませんか?!

通所介護 デイサービス春林館

当施設では、新たに機能訓練室
を開設しました。

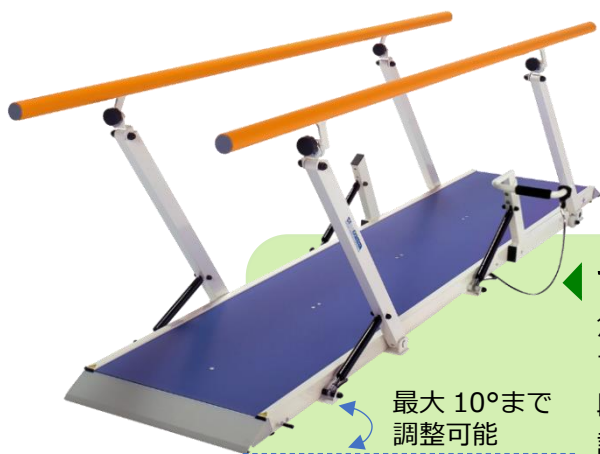
入浴や食事・作品作りなどに加
えて、最新のマシンを利用しての
機能訓練や理学療法士による可
動域訓練を行っていただけるよ
うになりました。体組成計で筋肉
量などを調べ訓練の成果を見る
こともできます。

体験利用も随時受け付けてお
りますので利用を希望される方
は担当のケアマネジャーにご相
談下さい。

Tel 0736・39・5030



認知症予防のトレーニングを行いながら
効果的な運動ができます。



マルチパラレルバー

角度を調整して坂道を歩行
する訓練や障害物を置いて
段差やでこぼこな道を歩く
訓練も行えます。

最大 10°まで
調整可能

この他にも色々な
マシンを導入して
います。



体組成計

体成分の均衡状態が一目で分かる
InBody 測定です。基礎代謝、全身
の筋肉量・脂肪量等が表示される
ため、リハビリやトレーニング効
果などが目に見えて分かります。





3月23日、即興ピアノ演奏会を開催しました。
会場の雰囲気に合わせて即興で演奏！！また患者さんをイメージした曲も作ってくださり、ご家族の方も喜ばれていました。楽しい時間をありがとうございました。

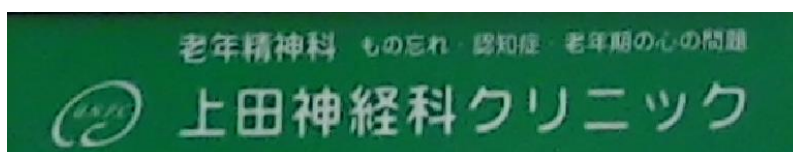


お花見



4月4日、当院の庭園でお花見を開催しました。
緩和ケア病棟の患者さんやご家族の方と一緒に、ポカポカ陽気の中、お花見を満喫された様子で、四季を楽しんでいただけて本当にうれしく思います。

地域連携室便り



院長 上田 英樹 先生

現在当院は主に、老年期のうつ病をはじめとする気分障害や神経症を含む不安障害、および認知症(BPSD 含む)やせん妄などの症状性・器質性精神障害等の精神疾患を重点的に診療しております。近年の傾向として、特に気分障害や不安障害の患者さんの遷延化、慢性化が増加しつつあるように思います。この年代特有の健康や介護などの問題に加え、独居や後継者問題、買い物、交通手段といった生活そのものを脅かす不安を訴えられる方が多く、薬物療法以外の介入も必要となることが増えました。この地域で暮らす方々の不安の裾野が広がり、安心して老いを迎えることが難しくなっている印象をも受けています。「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる」地域包括ケアシステムの構築に少しでもお役に立てるよう、様々な不安を有する地域の方々に対して、生活を視野に入れた精神医療を続けさせて頂きたいと考えております。

上田神経科クリニック TEL 0736-22-1000
〒649-7161 伊都郡かつらぎ町笠田東 171

地域の 架け橋

ブレストセンター、緩和医療等、多様な医療ニーズに対応され、更には急性期高度医療から回復期、慢性期、予防活動、生活支援に至るまで切れ目なくカバーして下さる地域の中核病院として、今後の益々のご発展をお祈り致します。



*本文は院長 上田 英樹 先生よりご寄稿いただきました。